

## WEBアンケート調査結果

1 アンケート調査名	「小・中学校の適正規模・適正配置(統廃合等)」
2 アンケート調査期間	平成28年2月1日午前10時～2月10日午後5時
3 回答者数	640 人

Q1: 同居の家族の中に、小学生または中学生のお子さんはいますか。

(1つだけ)(入力必須)

いる	176	27.5%
いない	464	72.5%

Q2: 小学校のひと学年あたりの学級数について、統廃合や学区の見直しなどの対策が必要だと思うのは、次のうちどれですか。

(いくつでも)

1学級	350	37.9%
2学級	171	18.5%
3学級	68	7.4%
4学級	44	4.8%
5学級	104	11.3%
6学級以上	187	20.2%

Q3: 中学校のひと学年あたりの学級数について、統廃合や学区の見直しなどの対策が必要だと思うのは、次のうちどれですか。

(いくつでも)

1学級	307	26.4%
2学級	218	18.7%
3学級	102	8.8%
4学級	41	3.5%
5学級	41	3.5%
6学級	79	6.8%
7学級	97	8.3%
8学級	109	9.4%
9学級以上	171	14.7%

Q4: 小学校への通学時間について、徒歩の場合、何分以内であれば可能だと思いますか。国の基準では、概ね4km以内としています。

(1つだけ)

60分以内	10	1.6%
45分以内	76	12.3%
30分以内	381	61.9%
15分以内	149	24.2%

Q5: 小学校への通学時間について、バスや電車などの交通手段を用いた場合、何分以内であれば可能だと思いますか。国の基準では、概ね60分以内としています。

(1つだけ)

60分以内	80	13.0%
45分以内	135	21.9%
30分以内	184	29.8%
15分以内	34	5.5%
徒歩以外の通学手段は望ましくない	184	29.8%

Q6: 中学校への通学時間について、徒歩や自転車の場合、何分以内であれば可能だと思いますか。国の基準では、概ね6km以内としています。

(1つだけ)

60分以内	70	11.4%
45分以内	187	30.4%
30分以内	308	50.0%
15分以内	51	8.3%

Q7: 中学校への通学時間について、バスや電車などの交通手段を用いた場合、何分以内であれば可能だと思いますか。国の基準では、概ね60分以内としています。

(1つだけ)

60分以内	182	29.4%
45分以内	167	27.0%
30分以内	147	23.8%
15分以内	26	4.2%
徒歩や自転車以外の通学手段は望ましくない	96	15.5%

Q8: 「子どもたちの教育の場」としての役割以外に、学校に期待することは、次のうちどれですか。

(2つまで)(入力必須)

地域コミュニティの拠点	325	24.8%
災害時の避難所	449	34.3%
地域防犯力の向上(防犯ボランティア、セーフティウォッチャー等)	162	12.4%
地域に与える経済効果(地域の文房具店や商店等)	43	3.3%
子どもの存在による活気やにぎわい	317	24.2%
その他 ※P4参照	13	1.0%

Q9: 学校の統廃合を検討する際に、優先すべきことは次のうちどれですか。

(2つまで)(入力必須)

規模(学級数)の適正化	369	27.8%
施設の安全性や老朽化の状況	272	20.5%
通学路の安全性や通学時間への配慮	417	31.4%
地域コミュニティとの整合性	93	7.0%
地域における公共施設の配置状況	82	6.2%
市の財政負担の軽減	81	6.1%
その他 ※P4参照	14	1.1%

Q10: 学校の規模(学級数)や学校の設置場所について、お考えをお聞かせください。

(自由記述)

※ P5参照

選択肢 その他の記載内容(一部抜粋)

Q8 「子どもたちの教育の場」としての役割以外に、学校に期待することは、次のうちどれですか。

学校現場はただでさえ人手が足りず、お役所関係の書類が増えている状況を考えると、地域が介入してしまうと学校の中のことなので職員導入ということになり、かえって教員の仕事が増えることになってしまう。そのため、不必要に地域を介入させず、教員の仕事の軽減をし、その分もっと教育や子どもたちへのかかわりの部分(部活動など)において活動してもらいたい。例えば、宿題プリントの見直し(何年も使いまわしているように思える。また、現在の小学1年生では知らないものの絵を示し、それを答えさせるなど、時代に即したもので一人でも解くことができる宿題にしてはどうか。※一部の学校ではあるが。そうすることにより、保護者の負担も減るのでは。)
子どものしつけ。道いっばいに広がって邪魔だったり、車にボールをぶつけても平気だったり、他人の庭に勝手に入ったり人の迷惑になることをしないように教育して欲しい。今、家庭で教えない親が多く困っています
大人のやり直し教室。中高での基礎を忘れてしまったり、何とか卒業したが、しっかりもう一度試験目的でなく基礎から学びなおすことができる機会。今のシニア勉強会は趣味的要素が強すぎるので。
スポーツ拠点、地域の人や学校の子供たちや地域の幼児などが、みんなで運営して、学校の施設を使用して、スポーツクラブを作り、多種目に参加できる、会員制、費用は安くする
学校の周りの清掃や校庭の木々の落ち葉の片付け等などによる地域活動の参加
人(人間)を育てる。・道徳を学ぶ・優劣を学ぶ・我慢を学ぶ
ワークショップなどで使えるように一般への時間貸し。
生涯学習の場としての活用
地域の環境浄化の核。
子どもたちの安全の場
音楽演奏等を聴く機会
中学校の部活動の充実
子供との密な関係

Q9 学校の統廃合を検討する際に、優先すべきことは次のうちどれですか。

小中学校とも規模の縮小により、財政負担の増加も問題だが、ある程度以上の規模でないと十分な教育効果が得られないこともあると思う。また、コミュニティバスの活用により、遠距離通学児童の通学を可能にすることも必要と思います。
学校の統廃合を検討することを是認する設問に疑問を持つ。なぜ今になって統廃合を検討しなければならなくなったのか、その反省を先にやるべきだ。そうしないと将来に渡って統廃合がついて回るだろう。
学区が変わることはすごく大きなことなので、子供や親世代の意見をよく聞くことが必要。お年寄りの意見で、統合できないと聞いたことがあり、それはどうかと思う。
子供たちが大人になって学校がよい空間だったと思えるような環境づくり(大人の都合を強いらぬ)
統廃合の必要性が明らかではなく、むしろ統廃合先にありきの質問で、適切ではないと考えます。
学校の主体は子どもたちです。その子供たちが通いやすい状態を作ることが一番です。
生徒の希望、保護者の希望。
生徒にとっての生活環境の維持
歴史や伝統の継承、融合
教師のレベル合わせ
子供たちの気持ち
子どもたちの思い
教育の質の確保
しない方がよい

Q10 学校の規模(学級数)や学校の設置場所について、お考えをお聞かせください。(自由記述)

過疎地域においては、スクールバスの導入を進めてはいかがでしょうか。昨今、バス事故等の心配もありますが、徒歩・自転車よりは数段安全かと思えますし、統合を進めることで学校・学級・教職員の適正配置が臨めると思えます。  
過密地域においては、小学校は保護者が、中学校は小学校高学年になった段階で本人が複数の学校の見学をおこなって情報公開し、必ずしも決められた学区でなくても良いようにしたらいかがでしょうか。大規模＝良い学区という風潮がありますが、実際に入学してみると小規模なりに良い点もたくさんあります。また、市(教育委員会)にお願いしたいのは、大規模マンションが計画される際、学区を厳密に守らせていただきたいということです。かつて隣接学区を指定しながら結局大規模校区の越境を認め、なしくずしになっているという声を聞きます。前々から住んでいる人が不利益を被るのはいかがでしょうか。

学級数と共に、クラス人数も再検討をお願いしたいと思っています。小中とも学校の教師は生活指導と学習指導の両方を行っていると思いますが、年々生活指導にかけられる時間や意識が多くなっているとも聞きます。我が家の娘が通うクラスの様子をみてもそうだと思います。家庭が子どもの健全育成に大きな役割があることは言うまでもありませんが、そこが弱体化していること、社会環境が悪化していることの2つが大きな要因ではないかと感じています。夫婦や家族の絆を深める地域のサポート、コミュニティの育成も学校教育の質の向上に貢献するのではないかと思います。また、クラスの人数を5名ほど減らすだけでも、先生の負担軽減になり、学習指導により時間を割けるようになるのではないかと考えます。

学校に期待される機能は、単に学力の向上だけではなく、社会の一員として生きていくための基礎を学ぶ場としての重要性もあると考える。そのためには、学年あたりの学級数が1や2では、こどもの社会性を醸成する上で不足であると考え。設置場所については、整理・統合を検討する前提であれば、既存の学校所在地に設置することが必要と考える。現在の財政事情では、新たな場所への新設は不合理と考える。通学距離が多少長くなるとしても、むしろ通学の途上でこどもが得るものが増加することに期待する。ただし、人口密度の低い地域などでは、あまりに通学所要時間が長くなることにより、健全な遊びや学習の時間に影響を与えないように、例外的な配慮も必要と考える。

基本、現在ある学校の建物をそのまま活かし、財政負担をしない、新規建設はしないこと。自宅から15分以内で通える所に設置することとし、夕方暗くなると人通りの少なくなるような所は避けることとする。学級数については、極端に少なくなったり、クラス替えの出来ないような学級、生徒数とならないように学校間の人数配分を均等にしようとして欲しいと思う。なぜなら、少ない生徒数や学級数だと友達を選べない環境となり、孤立する子が出来やすくなると思うから。

自宅の周辺はどんどん家が建ち、近所の学区にはマンション建設の計画がある。実家の近くは子供が減り全学年ひとクラスになっている、など、子供の人数の増減は数年でだいぶ変わってしまい、学校の統廃合が追い付かなくて当然だと思う。小中学生という社会性を身に付けていく大切な時期にひとクラスのみでというのはかわいそうに思うけれど、通学に45分かかかるような場所では子育て世代は住みたいとか家を買おうとかは思わないと思う。とてもむずかしい問題です

設問とずれるかもしれないが、現在の学区を見たところ、すぐ近くに中学があるのに、徒歩30分以上の中学の学区だという地域があまりにも多くてびっくりした。中学校区と地域が結びついているのでそう簡単にはかえられないのかもしれないが、通う子供の事を第一に考えるのであれば、千葉市もこのあたりで大々的に学区のみなおしを試みたらどうか。兄弟が別の学校になるとか数年は混乱するかもしれないが、長い目でメリットの方がずっと多いと思う。

小学生でも低学年のこどもには、ランドセルや手荷物を持つての2キロは1時間ほどの道のりになり、毎日2時間に及ぶような通学時間は心配も増え望ましくないと思う。私自身が市内の公立中学校に電車通学をしていたが、毎日1番混んでいる時間帯の上り電車に乗ること。本数の少ない電車に合わせて行動をしなければいけないことなどは、かなりの負担だった。徒歩以外の通学になるのは小学生にはもっときびしく、交通費も気になる

人数が少な過ぎると、学習活動や部活などの選択肢が狭まり、1クラスの人数が多いと先生の目が行き届きにくく先生の負担も大きくなると思います。美浜区など、密集した住宅街は、学校数を減らし少人数クラス数を増やして、いろんな活動がしやすくなれば良いと思います。親が回ってくる役員の事ばかり考えているのは、学校の活動が活発になるとは思えません。

例えば将来的にこの小中学校は最後まで存続し地域との交流の場所にもなる。所を十分検討した上で決めるべきだと思います。  
現在小中学生の子どもがおりませんので一概には言えませんが、我が子達が通学していたあすみが丘は将来を考え学校場所、通学範囲の線引きが残念ながら正確に行われていなかったのではと思います。

規模はほぼ適正だと思います。集団行動など、友達との共同学習場所としての意味もあると思うので、規模が小さくなり過ぎるのは良くはないと思いました。規模の小さい学校は通学距離の問題など様々な課題があると思いますが、市としてそういった学校へのサポートなどあれば良いのではないかと考えます。

近くに新しく集合住宅がたてば、子供の人数が増え学校、学級数が必要になる。時間がたてば減る、これはずっと同じなので、その状況に応じた学校の利用方法を柔軟に考える必要がある。単純に統合＝取り壊しではなく、今後の集合住宅等の予定もしくは市がそれをコントロールはできないものか。

宅地開発やまちづくりに着手する時から地域の学校規模や所在について計画方針を定めておくべきだろう。不動産業者任せや教育理念のない首長任せでは後になって学校の統廃合の問題が出てしまう。子供達はその犠牲になってしまう。母校のないまま故郷のないままの教育環境でいいのだろうか。

少子化による学校の統廃合は仕方ないと思う。今後はある程度市民がまとまって住む区域とそうでない区域が出来てしまうと思う。それに伴い、学区の見直しや学校の統廃合が検討されると思う。その場合でも生徒の通学や学校生活の質は担保されるなど配慮、対応は必要と考える。

今の地域の学校は大規模校であるが、すでに減少に転じている。それを考えると、今学区変更をしても意味がない。越境をすることをもっと柔軟に考えてほしい。中学校が学区のはずれにあることが多いのはなぜか？中学校を設置する時に、もっと学区の中心に置いてほしかった。
学校の周りの環境は道が明るい、人通りが多い、歩道が整備されているなど、子どもが万が一、一人で歩いてもなるべく安全であるよう、配慮してほしい。学校の規模というより、人員や経費を削減するあまり、生徒一人一人に目が届かなくならないようにしてほしい。
大きすぎるのも、小さすぎるのも望ましくない(Q2, Q3)。小さすぎるからといって、統廃合により学童から「身近な学校」を奪うのは、より望ましくない。市の財政負担については、学校運営の一部に定年退職したNPO法人の利用なども考えてはどうか？
少子化の時代ですので、大規模学校はよくありません。先生方の目の届く範囲内の学級数、たとえば学年3学級以内、生徒数一クラス30人以下がよいと考えます。また設置場所は徒歩で小学校なら15分以内、中学校なら30分以内と近くを望みます。
教育するのに相応しい小学校及び中学校の一枚当りの一クラスの人員数が把握できないので、考えを纏めることは困難である。学生数が減少し、教室が余り、経費削減のための統廃合の前に、余った教室を有効的に活用する策の検討を十分に言うべき。
1学級でも15人以上いればよいと思う。ただ、人数が多い学校はあまり好きではないのでできるだけ規模は小さい方がよい。子どももチャンスが増える。場所はやはり安全に通える場所、行き来が大変でなく、学校で力が発揮できるような近さが欲しい。
「地域コミュニティとの整合性」等を根拠に、市の適正配置(小学校の設置場所)計画が流された経緯がありますが、子供たちの成長に待ったはかけられません。劣悪な教育環境を避けてすてきな学校生活を送られるよう芯のある教育行政を望みます。
稲毛区に住んでいますが、最近マンションが沢山出来て、子供が多くなってきたみたいなので、少し学級も増えてくるのかなと期待しています。その反面、入れなくて遠くの学校に通わなければならない話も聞くので大変だなとも思っています。
40名未満で1学級と規格化してる様ですが教室は窮屈ですね！30名でも良いのでは？設置場所は住宅街の真ん中よりは周囲は広場(公園)等がベターと思いますが学校に公共性の意味合いを持たせるならば、校庭が広ければ宜しいと思います。
財政負担減の為とは言え学級数が少ない＝すぐ統廃合ではなく子供達の通学時間の負担も考慮し学級数が少ないのなら校舎の半分を貸し出すとか(賃貸)保育施設等にする…等活かした状態で上手く運営する方法もあるのでは？と思います。
<学級数>現在子供は3クラス編成の学校に通っている。教室は窮屈で、先生の日も行き届いていない感じがする。少子化で子供の数も減っており、空き教室も存在しているので、一クラスの人数を減らし、学級数を増やしたほうが良いと思う。
安心して子供の教育を任せられる場所としての学校であることが一番だと思います。教師の質、いじめのない学校、いじめを隠さない学校。規模や場所を問いかけるよりは、今の教育現場に臨むことを核にした質問をした方が先だと感じます。
規模は1学年3クラス100名ぐらいがお互いを知りあうのに適量と考える。、児童と学生(障害のある生徒もいる)が、非常時に避難もしくは安全に帰宅できる範囲で考えるべき。時代、環境や社会の情勢も考慮して柔軟に対応すべき。
統廃合を進め無駄な学校維持費や公務員を減らすべきだと思います。一クラス学級の学校が近くにありますがお母さんたちは嫌がってわざわざルームの申請をネタに避けています。そういう現状をしっかり受け止めてほしいと思います。
学校の規模は、大きすぎても小さすぎても、よろしくない。大きすぎれば教員の目が届きにくく、小さすぎれば問題が興った時に修復が困難なことが多いので、国の基準を下に市の財政が許す範囲で規模の適正化を計っていただきたい。
美浜区は、小学校の廃校が進んでいますが、かつてないほど、マンション等住宅の新築ラッシュです。この先、新しい世帯が増えて、児童が増えることが予想されますが、こんなに小学校が廃校になって、対応できるのでしょうか？
単純に就学児童、生徒の数のみを統廃合の目安とする事には反対です。学校が地域住民のコミュニティの場や通学の利便性、避難場所の役割など広い視野で検討されるべきであり地域住民の意思を最重点に考えるべきと思う
学校の場所によっては、すぐ近くに別の小学校がある場合もあり、一方は1学年1学級、もう一方は3学級等あるので、それならば、一つにして4学級にし、統合により遠い子供は通学も公共乗り物でも良いと思います。
少子化の傾向の折、学級数が少なくなり、統廃合され、通学時間が長くなってしまふ反面性が出てしまふ。学級数が少なくなることと通勤時間が長くなるという両面について、地域を含めてもっと議論を尽くしてほしい。
教員の負担が増している状況にあるので、少しでもそれが軽減できるように教員の意見を尊重した学級数にして欲しい。設置場所については児童の負担の無いように自宅から徒歩15分以内の場所に設置して欲しい。
駅から近いような学校が職員の車で埋まっているのは、いかがなものかと思う。子供たちの遊び場が職員の車でなくなっている。統廃合で子供たちに通学で苦勞を強いるなら、当然、職員もそうあるべきだと思う。
小学校については、大規模(全校で1000名以下)の規模が望ましいのではないかと。現在の小学校は行事・基本教科以外の授業が多く、特に英語だ、pcだと今までにない授業への対応が困難ではないのか。
学級数が学年1, 2学級では少なすぎると思う。学年、学校での行事が、活発に行うことが難しくなることが考えられる。また、いろいろな施設や用具などある規模で使うことにメリットがあると思われる。

<p>小学校は1学年30人×2学級×6年＝360人規模、中学校は1学年30人×5学級×3年＝450人規模程度が適正、設置場所は小学校は徒歩で15分以内、中学校は徒歩30分以内程度が適正と思う。</p>
<p>なるべく学校を中心に同心円を描くことができるような場所に学校を配置できるようにすべきと考えます。例えば、貝塚中学校は学区の外れに学校があるため、遠方の生徒は中学生の足で50分かかります。</p>
<p>少子化で統廃合は仕方ない事として市がもう少し積極的に働きかけたほうが良いと思います。大勢の方が影響あるので慎重に協議するのはわかりますが長引く話し合いは余計な摩擦を産むと思います。</p>
<p>子供が本町小に通っていますが、人数が少なく、アットホームな雰囲気気に入っています。すぐ近くの鶴沢小と統合してもいいかと思いますが、このまま少人数のままいてほしいのが本音です。</p>
<p>越境入学をもっと柔軟に対応すべき。四街道市の方が、学力、運動能力の向上に力を入れている。千葉市は学校によって差が激し過ぎる。学力テストの平均点や偏差値を、学校単位で開示すべき。</p>
<p>学校の統廃合と同時に、現在の学区が適正であるのかも見直すべきだと思います。(我が家は小中ともに明らかに倍以上の時間がかかる学校が本来の学区になっているので、越境通学しています)</p>
<p>中学校を基準に考えると1学年6組40人で240人なので小学校は、2校から120人が妥当かなと思います。学校の設置場所としては、既存の学校を使用し幼稚園の様にスクールバスを使う。</p>
<p>小学校でも中学校間でも1学年は4学級程度通学時間は小学生(徒歩)も中学生(自転車又はバス・電車)も通学時間は30分以内で同じ町内の子供は同じ学校であることが望ましいと思います。</p>
<p>まずは、児童・学生のことを最優先に考えるべき。その次に、基準を作ることは必要。ただし、各校・各地域の事情に応じた判断をする必要がある。画一的な判断にならないように注意すべき。</p>
<p>人数が少なくクラス数が1つだと、トラブルがあった時に改善が難しいと思う。また、人数が多くクラス数も多いと教師の目が行き届かず手のかかる子が放置される可能性が高くなると思う。</p>
<p>自分が学生の時には、5～8クラスは当たり前で、1クラスの人数も50人を超えることもありましたが、やはり多すぎだったと思います。小中学校は、3～4クラスが丁度よいと思います。</p>
<p>現状がよく理解できていないのですが、生活地域に学校が存在し、規模や環境も最善の配慮が必要だと思います。子供たちが地元で地域住民と共に安心して活発に成長して欲しいものです。</p>
<p>適正化を人数だけで実施すると登校に時間がかかる場合が出てくるので、学習環境に大きな差が出るのが懸念される。また、災害時の拠点が徒歩圏内になくなるのも問題と思われる。</p>
<p>送迎等の子供が学校に行ける環境を整えられるのであればかなり大胆に統廃合を行ってもいいと思いますが、それはそれで財政負担がかかるのでなんともいえないところという感じです</p>
<p>教える側も教えられる側も負担にならない規模が望ましい。娘が地域一番のマンモス校に通っていたが、先生も生徒もお互いが把握できていない状態だったので不満と不安を感じました。</p>
<p>中央区の場合、千葉みなと駅近辺に多数のマンションが建設され、近くの小学校は美浜区で学区外で行かれないのは、通学する生徒の安全性の観点から見直すことを検討されたい。</p>
<p>通学時間は30分を越えると負担が大きい。通学路の歩道が狭いところは、正門以外にも、横門など登下校時のみ使用可能な出入り口を利用することがより安全教育になるのでは？</p>
<p>一学年あたりの人数が少なすぎても学校全体の生徒数が多すぎてもいけないと思う。学校の大きさに合う人数を考えるべき。学校は校区内の中央に置かれるべきだと思います。</p>
<p>人数が少なくなったから統廃合するのではなく、多すぎるので分離するならいいと思うが、特に小学校は通学の安全面からも統廃合をやたらと進めるべきではないように思います。</p>
<p>近隣の小学校との学級数の差がありすぎる。新しくできたマンションで、小学級小学校に通学だと売れないからといって、規模の大きな小学校に無理に入れなくてもいい。</p>
<p>新興住宅地や高層住宅の立地に、廃校の際負担軽減のため、鉄骨で設置する。2層が理想。未開地の土地が多い場所を優先して開校する事が問題を解決する方法かと思います。</p>
<p>子供は一学年一クラスの小学校で6年間過ごしました。アットホームでよかった点もありますが、せめて2クラスくらいあった方が、良かったのではないかと思います。」</p>
<p>特に中学校では、学校規模の縮小により、教員数が少なく、例えば体育専門の教師が国語も担当するような教育環境は、生徒、教師の双方に良いことではないと思います。</p>
<p>それより保育園の増設では？4/1からの職の内定いただいたのに保育園落ちて働けなくなりました。二次募集の結果出るまではさすがに待ってもらえませんでした。</p>
<p>学級数の減による統廃合のみならず、花園中のような大規模すぎる学校の分校化も積極的に対策すべき。大規模すぎて埋もれてしまう生徒が出てしまうのは問題である。</p>

<p>小学校については、校内に併設されている子どもルームも多いと思うので子どもルーム利用者の利便性や子どもルーム(社協)との連携を強めて設置整備をして欲しい。</p>
<p>子供たちの共同生活や、ある程度の競争心を喚起できるような、規模が必要。通学時間は、徒歩にしる、バスや、自転車にしる1時間以内であれば許容範囲と考える。</p>
<p>学校の設置場所は、災害時の避難場所にもなるので、安全な所が良いと思う。学校の規模は、少子化のため大きくなくてよいが、空間が広々とあってほしいと思う。</p>
<p>学校の規模としては、500人くらいが、望ましい。設置については、将来を見越して、設置したほうが良い。将来、学校を見直すことも考慮し、設置。</p>
<p>学区調整等の学区の見直しについては、教育委員会はもっとしっかりした考えを持ち、多少反対意見が出てふらふらしないやり遂げることが重要。</p>
<p>母校の中学が統廃合で無くなり、高校もまた校舎が残っていない身としては、各学年の学級数が減っても、地域に生きる子どもたちを見守ってほしい。</p>
<p>学級は、各学年3くらいはあったほうが良いように感じる。学校まではあまり遠くないほうが良いので越境入学など臨機応変にできるとよいと思う。</p>
<p>変化に対応する時代になったのは確かだ。教育する側と受ける側とも合理的効率的に加えて安全など難しい。どこに妥協点があるのかは悩ましい。</p>
<p>統廃合が進むので、避難場所としての役割は別で検討した方がよい。(公園の整備など)小中の一体化のように少子化に対応した施策が必要では</p>
<p>複数あったほうが交流が増えてよいが、無理に統合しなくてよい。空き教室を地域の高齢者に解放するなどして市や民間が事業をしてみてもは？</p>
<p>現在子どもがいる世帯が多くいる場所に新しい学校が作れないのであれば、学校の近くに新しいマンションを誘致する様にできないでしょうか</p>
<p>生徒が少ないなら少ないなりのメリットはある。人数よりも、通学時間や地域間での不公平、学校の特性などを重要視して欲しいです。</p>
<p>子供の社会性育成の観点から、一学年30人以上。また、安全上の理由から、徒歩もしくは自転車で通学できる範囲に限ったほうがよい</p>
<p>小学校の規模は、1学年2学級から5学級くらいが適正だと思います。中学校の場合は、4学級から7学級くらいが適正だと思います。</p>
<p>道路交通、犯罪発生事情、その他健康にかかわる環境事情を考慮することが最優先。財政事情さえ許せば学級数は重視すべきではない。</p>
<p>学級数は、1学級35名以下を基準に 学級数を決めるのが理想と思います。設置場所は、地域の中心部が理想と思います。</p>
<p>学級数の適数は難しいが、少ないと社会に出たとき「井の中蛙大海を知らず」になり成長に時間がかかるのと子供が苦勞すると思う。</p>
<p>地域による、子供の人数の配置数により設置される学校は学級数はその人数によるのが良い。過疎の地区も学級数は、それに従う。</p>
<p>高洲四小のような今後生徒が増えるような要素の無い学校は集約すべきで、一部の政治的に動く人たちの圧力に負けてはいけません。</p>
<p>少子高齢化に伴い、学級数の変化に伴い市の財政も苦慮するところですが、統廃合による通学の安全性を第一に考えたいところです。</p>
<p>家庭があり、地域があり、学校がある。昔、当たり前のことが、今は考えなければならない。学校は身近なものと考えます。</p>
<p>子どもの教育(知育徳育体育)にとって相応しい環境を持った場所。できれば将来的にも長く学校として存続が可能である場所。</p>
<p>子供が打瀬中学の卒業生だが、小学校が3校あるのに、中学校が1校なのはおかしいと思う。学級数が多く、2校必要だと思う！</p>
<p>少人数ならクラスを増やし、教員を増やして雇用を増やすとか、保育園や幼稚園を併設するなり施設を有効に活用して欲しい</p>
<p>小、中学くらいまでは一学年100人を超えるような大規模校より、少人数のほうが友人も、先生も目が届いてよいと思う。</p>
<p>千葉教育大付属小学校の学区を見直して広い地域から通えるようにして欲しいです。同じ緑区なのに土気は学区外なので。</p>



日本なのに多国籍の児童が日本人より多いのは好ましくないと思うので、学区わけなどは、人種の割合を考えてほしい。
少数学校が増えている状態のなか、積極的な統廃合が必要と思います。空き校舎を地域へ開放するなどお願いします。
小さすぎる学校には、コストがかかる上に子どもたちも多くの子どもと関われないなどの問題もありもったいない。
中学生以上の場合には通学に60分以上かかっても良いと思うが、小学生の場合は短時間で通える様な配慮が必要。
学級数が少ない方が勉強面で良い結果が出ると聞いたのでクラス数が多いところは市が柔軟に振りわけてもらいたい
学校までの経路がとても重要だと思います。距離が長ければみどりのおばさん等の途中送り迎え立てたほうがいい。
幕張西の小学校、中学校はプレハブが多く、グラウンドが小さくなり生徒は増え、行政の怠慢の犠牲になっている。
児童や生徒、教諭にとってプラスになる方法で行ってほしい。また、地域の理解を得ることも大事なと思う。
学校の規模は、教職員が目の届く範囲(人数)が良いし、設置場所は、自然が豊かで住宅街の近くが良いと思う。
学級数も大事だが、1クラスの定員も国基準より少なく小学校なら30人以下、中学校なら35人以下が望ましい
学級数よりも一学級における生徒の人数が多すぎると思う。せめて30人学級にはならないものだろうか。
財政、地域との配慮その他考えられるし難しいとは思いますが、子供にとってどうなのかを優先してほしい。
保護者が車の送迎が必要な場所は不便。バスが通っていても始業時間より遅いのはいかがなものか。
統廃合も必要かもしれないが、人口構成が適切になるような行政としての働きかけにも注力すべき。
繁華街を避けた安全な場所。多面的な考え方や団結力を育むために5学級程度が望ましいと思う。
物理的なものもあるが、1クラスの人数は現在のまま、クラスの数を増やすなら構わないと思う
廃校となった学校が放置されたままになった地域があるが早急に対策すべきと考えます。
児童数の適正化を基本に公共施設の配置状況と通学圏の可否に配慮して推進するほかない。
私立で中・高校一貫の学校を磯辺地区に設置する。(全国規模での比較的有名な学校を)
登下校時かかるとやはり家から近いほうがいいのでがなるべく現状のままがいいです。
新規に建設するのであれば、学校の設置場所には区役所の出張所や交番等を併設する。
市の財政云々ではない。こういう問題は、各学校ごとに細かく見るべきである。
通学路のガードレールがないところがあるので、これから子供が通う事になると心配
学級数が少ない学校は統廃合すべき。跡地には、公共性の高いものを建設すべき。
おゆみ野・鎌取近辺に住んでいますが・・・学校の設置場所は、適切と思います
学校は地域住民にも必要なものなので皆が集まりやすく安全な場所が一番です。
場所によっては小学校と中学校を同じ校舎で開校することも必要と思います。
人口増加が期待できない以上、現状に合わせた調整は仕方ないと思います。
1学年4クラス位が良いと思う。児童数の減少で難しいかも知れないが。
概ね徒歩での通学が望ましい。回りに色々な年代の方々が居る事が良い
学校は地域におけるスポーツ推進の拠点となっていることを考慮すべき。
電車、バス等の交通機関を使ってでも、統廃合は実行されるべきである。
意外に学校は騒音があるので住宅地は除外した方がいいと思います。

大規模過ぎると、子供だけでなく、親のコミュニティが作れず困る
学区が広がるのであれば、駐車場の施設も必要だと思います。
小学校低学年に関しては、一クラス20名で5学級が希望です。
一クラスにおいて教育が行き届く範囲で35名以内が望ましい
街の中心的存在として、計画設立していくべきです。
地域の環境等に配慮が必要なので、一概に言えない。
経済合理性以外に規模にこだわる必要を感じない
地区の状況に応じて柔軟に決定するのがよい。
45分以内なら統合してもいいのではないか
弥生小学校は小規模すぎて、どうかと思う。
学年が上がるたびにクラス替えができる。
スクールゾーンをもっと目立つようにする。
1学級40人までが良いと思います。
最低3学級(10人位目処)
住宅地であればどこでもいい
地域に存在感のあること
海や川のそばは怖い